



環境を大切にすることは子どもの頃から育む  
草原で自然観察とゴミ拾い



小学生を対象に、野草の観察をしながら同時に山のゴミを拾う活動が、5月16日、大観峰周辺ミルクロード（6 km）で行われました。財団法人再春館「一本の木」財団（葉玉匡美理事長）が、環境を大切にすることを育てようと昨年からは実施しているもので、今年には市内外の小学生約50人が参加しました。

子どもたちは、阿蘇地区パークボランティアの会、阿蘇の自然を愛護する会などから自然の役割、野草などについての説明を受けながら、途中で落ちていたゴミを拾い集めました。ゴミは見苦しいだけでなく放牧の牛が食べてしまったり自然を壊すことも学んだ子どもたち。山での昼食後は、九州地方環境事務所岡野隆宏課長による環境学習が催されました。

子授かり安産祈願で知られる乙姫の子安河原観音で5月8日、区主催のもと関係者約35人が参列し祭事が開催されました。また、祭りにあわせ毎年恒例となっている乙姫小学校と乙姫保育園の新入生歓迎遠足も行われました。

子安河原観音は、子どもの欲しい人は川石（黒石は男の子、赤石は女の子）を持って帰り、股に挟むと子宝を授かると言い伝えられ、「子授かり安産」の守り神が祀られていることで有名です。昔から地元の方々に親しまれ、子授かりや安産の際は九州各県から年間6千人以上の参拝者が訪れています。

乙姫子安河原観音で例大祭



ボランティア  
ありがとうございました！



5月11日、熊本県自動車整備工業協同組合阿蘇青年部会（荒木崇寛会長ほか6人）の皆さんが、仙酔峡で清掃活動を行いました。同部会では毎年観光客の多いゴールデンウィーク明けに仙酔峡でゴミ拾いし、「いつ来ても美しい観光地」を目指し環境美化に努められています。

花原川沿いに観音さま建立



右が「阿蘇幸夢観音」  
左が「田の神地蔵」

小里裏を流れる花原川は、鍋釣線の田園風景を眺めながら兩岸を散歩出来る癒しのスポットです。ここには3年前に田の神地蔵尊が祀られ、親しまれていますが、この度、その横に「阿蘇幸夢観音」が建立されました。約1メートルの木造一刀彫りのこの観音様は、匿名で寄贈されたと言う事で、鎮座する館を阿蘇ホテルの会が建設されました。その際「阿蘇幸夢観音」は西向きに建てられました、それは日が昇る東に向かい、「今日も一日元気で無事に暮らせますように」と、小さな幸と夢を願えるように。また一つ花原川に癒しの空間が出来ました。